



東京日記
從辰三月下旬
 到巳二月中旬

然四冊
 巳正月
 二月十六日

東京
 〇
 〇

目次
 巳後

早稲田大学図書館
 文書27
 A23
 1





家老
中堂
六老
庄田
越 右京

六老
木下
片山
木下

已巳 第一号
番外
共八册



○明治二年

已巳元旦試毫

清晨無客訪吾家一段苦心也歲華沈視明窓
先試筆新春一旬及梅花
新春第一列君家似居居軒窗拍翠平日詩談忘世
味尋師猶睹云看花 訪養道僧



女子勤く外を仕事し中を不抜く古風日暮
まじりて中をみたり列女名傳賢是くは元寇
の

女子の勤く外を仕事し中を不抜く古風日暮
まじりて中をみたり列女名傳賢是くは元寇
の世衰勢は候ふも一様書に之を失はぬ
口降因備カク不遠行夫の白國書描出
可目古の急務下一人をたす我の
受辱之極の恨合他は為る女妙曲を為る極極を
乃其共舞と極く我同は所は舞のまじりて
名し傳に付はとあるにや誠哉王を為る氣節
女阿の存るにトモモ多流必死の極は打能
不飲くも是は白國の為る中をみたり
女子事傳の好く歌内は篇の極極を痛く
流の十思の美く白國を流くは後我は
人の下りては吾國の人の流るに胸刀心

所困難の中を白くは海を多行特極
女子流免ぬ由ありたりは行々内海極
おのまは長共多し内海極は皆は身事
極く是を物にたりは仍白一才は
在るは通道一國の力を極くは白國の
打たは一契は是の事極はは
一新の機房は是は極くは是の事
一講を極くは千載を是は信極は
女子心海を流るは是の事極は
女子心海を流るは是の事極は
女子心海を流るは是の事極は
女子心海を流るは是の事極は

一完年白國の極極は是の事極は
女子心海を流るは是の事極は
女子心海を流るは是の事極は
女子心海を流るは是の事極は

懐德建白止るに
可出長口國を流るは是の事極は
生降沈吟是自ら中流を極は

中世の文化

銀器の遺跡は、その文化の発展を示すものであり、その分布は、その文化の広がりを示している。

中世の文化は、その発展を示すものであり、その分布は、その文化の広がりを示している。その文化の発展は、その社会の発展を示している。

四日晴

昨日は晴れ、秋の気配が感じられる。田舎の風景は、静けさと美しさを兼ね備えている。

如何なるものか、その文化の発展を示している。その文化の発展は、その社会の発展を示している。

その文化の発展は、その社会の発展を示している。その文化の発展は、その社会の発展を示している。

その文化の発展は、その社会の発展を示している。その文化の発展は、その社会の発展を示している。

その文化の発展は、その社会の発展を示している。その文化の発展は、その社会の発展を示している。

その文化の発展は、その社会の発展を示している。その文化の発展は、その社会の発展を示している。

その文化の発展は、その社会の発展を示している。その文化の発展は、その社会の発展を示している。

その文化の発展は、その社会の発展を示している。その文化の発展は、その社会の発展を示している。

一在卷尾に在るもの

十三日好晴

十字三外出

今朝橋本主税柄寄伊集衛西京殿迄

森元街健屋、裕衣光濯、性々

洋雪院上喜のまは午飯、吃、久

伊達主節、傍不在宅

其元催堂印、出藩刑法官判事、佐木三郎、傍

出仕留年ナリ

才挽町浴槽、不料東途、家謀、大村男也、面會、去、

驚歎、去年冒、前浪花、思、元、面、骨、而、後、長、別、命、ア、レ、モ、青、妙、ナリ

以、弟、弟、也、在、浅、庄、住、多、已、築、地、元、松、名、所、州、印、住、長、仍、而

直、年、大、村、世、數、殿、中、東、也、松、名、所、道、也、希、能

奥、羽、撥、乱、根、元、多、大、村、數、是、有、可、

六、七、月、中、横、濱、區、南、ノ、ミ、我、違、白、上、京、印、箱、筆、ノ、恨、ハ

東、也、殿、局、中、之、義、存、各、國、ハ、以、リ、与、公、使、留、年、年、年、

會、津、家、名、取、多、之、款、殊、改、方、之、及、内、外、之、怨、

至、極、回、意、在、去、時、節、未、夕、未、如、何、之、責、藩、中、雲、霧

晴、也、有、未、夕、天、顔、不、存、官、位、也、焦、不、渡、中、何、ナ、持、

之、世、話、中、ノ、怨、ヲ、キ、リ、カ、リ、カ、人、為、謀、略、ハ、ラ、レ、也、但、シ

會、為、之、歎、願、ス、ク、至、當、ナリ、和、ノ、責、藩、ハ、兵、ノ、事、也、

會、謝、罪、ヲ、謀、殿、下、也、持、用、多、ク、一、と、遂、ニ、義、ヲ、以

兵、ノ、事、也、一、身、ノ、悔、悟、ハ、其、藩、ノ、理、ヲ、以、説、ニ、依、リ、然、ラ、ハ、始

終、ノ、事、動、ハ、義、理、同、ク、不、出、唯、今、日、所、恨、ハ、層、商、宗、社

滅、絶、ト、成、ル、ヲ、予、素、ヨリ、會、ノ、為、之、歎、願、セ、サ、ル、ヲ、不、得、ナリ

尚、機、會、ノ、利、本、ニ、我、ホ、リ、可、報

一、米、藩、最、初、降、伏、ノ、説、謝、者、ナリ、三、敵、刑、四、萬、封、ヲ、存、ス、ル、事、

寬、典、ノ、評、議、十、月、頃、ヨリ、起、リ、七、八、與、州、平、定、其、功、為、大、

目的、ト、ス、ル、事、也、

一、天下、今日、憂、ハ、賞、典、ナリ、藩、長、如、キ、今、夜、賊、土、氣、絶

ノ、大、功、一、身、ニ、長、シ、テ、出、地、ヲ、去、ル、朝、廷、若、賞、之、以、出、地

俸、徳、彼、望、ハ、羽、翼、存、生、大、且、國、内、東、藩、諸、藩、ヲ、滅、也

勢、ヲ、削、キ、西、藩、益、強、大、ナ、ル、レ、ト、恐、ル、心、ス、固、勢、西、藩、

降、ス、レ、王、政、未、シ、テ、振、興、各、シ、降、籍、業、又、ハ、創、立、ノ、事、

顯、ス、若、皇、國、霸、氣、再、ニ、生、ル、時、ハ、遠、外、夷、ノ、猖、獗、若

國、内、ヲ、有、ス、ナ、リ、然、ル、レ、バ、以、際、素、ヨリ、神、列、ノ、為、ニ、

長、畫、ヲ、致、ス、ラ、自、ノ、揖、讓、ニ、テ、其、責、ヲ、不、欲、不、受

是、非、一、致、懶、和、ノ、策、ヲ、立、益、國、基、ヲ、固、ス、ル、是、逆、取

頂、守、昂、今、ノ、周、公、目、ナ、ラ、ハ、故、事、ハ、我、ハ、人、力、所、及、ニ、非、

昂、十、天、ナ、リ、府、藩、縣、之、藩、人、教、權、各、一、也、

固、内、ノ、心、依、リ、其、有、領、事、ノ、安、態、ヲ、為、ス、

一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一十六日京師表是林龜毛多以為京師者及也
一後藤藤原中次才即於信幸 此新之也 評到者
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一後藤藤原中次才即於信幸 此新之也 評到者
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也
一古者言而觀而多言者長則多言故下多言也

角進旗店奉松英自掃啓
 一 登坂行人秋田船中... 故應橋...
 一 坂坂田子... 出...
 一 北... 出...
 一 丹... 出...
 一 四月... 出...
 一 厚形... 出...
 一 可... 出...

廿九日晴

一 一君... 出...
 一 寺村... 出...
 一 形... 出...
 一 一... 出...
 一 一... 出...
 一 一... 出...
 一 一... 出...

晦日晴

一 一... 出...

私儀

一 一... 出...

先達の家相續

一 仰... 出...
 一 天... 出...
 一 一... 出...
 一 一... 出...
 一 一... 出...
 一 一... 出...

上杉武部

正月

一 一... 出...

一 池田... 出...

一 一... 出...
 一 一... 出...
 一 一... 出...
 一 一... 出...

昨中得同山侯、問未國信因多湯、在旭雲、係國傳、
侯有、皆吐、能延、起、憂、成、天、主、者、刻、于、李、之、
皇、我、大、起、之、貴、謝、也、也、
東京府、
略、日、之、我、神、
略、日、之、我、神、

二月朔日誌

公觀朝

到政府後、昨日、事、件

元、緒、一、十、年、了、洗、洗

昭、茶、隣、房、同、先、生、於、元、緒、不、入、浴

小、川、之、去、皆、以、之、外、新、有、同、本

明、日、將、新、年、之、事、情、也、彼

晚、陽、慷慨、不、平、不、自、勝、
不、時、時、鐘、又、敲、等、

豈、有、而、前、人、不、意、家、
書、集、落、反、展、

春、風、一、拍、傷、心、淚、
向、江、城、滿、落、花、

屈、放、實、遠、推、指、然、
吾、哀、朽、保、殘、年、
讀、書、為、卷、
終、無、用、何、日、江、漢、吊、三、賢、

二日 陰 午後雨

行政官、今、呼、掛、之、
庶、白、公、儀、人、在、也、
立、於、辦、事、傳、達、所、大、原

其、將、達、一、九、之、通、副、第、一

今、般、隔、色、類、之、通、
無、攝、情、實、設、
上、移、式、部

聞、食、屆、時、暫、時、卸、暇、
賜、以、條、婦、邑、之、上、
維、新、同、軌、之

御、趣、意、
奉、體、認、
藩、政、革、善、樂、
一、新、學、
治、教、致、

藩、屏、之、職、
不、奈、振、書、力、可、致、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

御、世、
御、世、

三日好晴

中慶子、羊十、池田山、先、當、事、う、満、了、し、る、形、也、
少、入、部、一、且、供、下、り、止、小、川、山、去、三、月、上、旬、に、
再、登、り、言、交、評、

一屋形様二字、秋月候、被、為、入、相、半、七、及、殿

一、小川未訪、之、般、湯、國、身、去、湯、と、詮、富、か、位、一、別、し、が、
云、し、若、身、書、此、中、認、林、電、者、の、會、し、ふ、を、し、し、と、
西、野、中、右、而、名、不、共、し、の、也、

一、先、生、長、治、上、法、年、交、折、り、未、お、然、事、存、滿、し、
淡、話、も、不、お、本、大、時、半、但、之、也、固、出、候、と、阿、久、彦、中、島、
岩、層、痛、惜、大、過、考、至、有、身、去、南、島、亦、好、又、南、島、
関、者、向、向、痛、惜、し、の、如、子、又、何、也、此、を、止、時、主、也、
左、為、之、存、世、任、事、高、得、や、さ、ら、な、身、何、も、う、而、姓、共、
歎、願、亦、し、計、策、ヲ、施、し、度、也、阿、州、侯、七、東、下、し、兵、を、
一、池、田、勝、則、元、先、先、由、う、の、明、日、出、之、言、暇、さ、う、の、晚、方、入、来、
四、日、晴、寒、

一、下、條、中、慶、子、ヨ、リ、今、日、八、時、被、召、出、旨、書、状、ヲ、以、テ、被、申、越、
先、山、先、生、と、而、入、清、ヲ、致、事、

一、入、浴、理、髮、一、在、あり、

一、屋、形、様、八、字、興、禪、寺、市、泰、詣、

一、双、松、炭、木、入、未、

一、二、字、紋、付、羽、織、袴、着、用、御、殿、相、詰、先、生、同、道、

一、中、慶、子、談、話、所、へ、被、美、演、説、之、次、第、ハ、日、被、召、出、之、後、先、達、
我、共、建、白、致、處、而、採、用、の、由、分、ハ、之、度、中、慶、子、當、時、形、
勢、亦、由、中、慶、子、所、國、政、改、革、之、為、竹、助、之、社、考、を、思、召、り、被、召、身、を、
申、す、根、據、説、得、テ、
先、生、南、座、
八、六、北、座、
而、入、無、列、

一、市、小、姓、頭、投、露、仁、郎、誠、一、郎、

一、屋、形、御、上、段、向、出、御、被、遊、市、橋、ヲ、去、シ、御、脱、劍、所、總、ノ、御、意、尤、
一、而、人、永、滯、京、最、初、ノ、非、常、盡、力、諸、藩、有、志、交、り、支、御、役、勤、も、
往、來、時、勢、も、洞、察、其、上、今、被、召、上、地、一、件、付、之、も、段、盡、力、致、し、滿、悦、存、在、

先、達、存、奇、中、出、如、何、も、感、服、然、今、今、度、歸、國、ノ、御、暇、及、下、右、三、付、之、も、作、被、見、
政、事、向、改、革、を、致、し、友、各、承、知、通、朝、暮、三、替、八、時、勢、ヲ、見、込、程、も、承、知、イ、タ、
心、得、之、且、留、守、中、ノ、事、ハ、一、段、盡、力、致、ス、様、之、ヲ、ウ、
御、意、ヲ、御、近、ク、追、便、採、差、回、リ、而、人、御、上、段、向、敷、居、際、追、曉、行、罷、
御、小、姓、頭、同、所、侍、坐、見、込、一、程、忌、諱、不、憚、申、上、復、被、演、説、

一、此、山、書、言、厄、今、日、大、勢、一、變、シ、テ、萬、國、同、視、相、成、リ、以、テ、何、分、大、活、眼、ヲ、九、州、之、テ、ハ、
機、會、之、後、一、任、事、ハ、成、る、成、る、教、語、リ、外、國、政、ヲ、予、前、三、不、相、成、繼、合、ハ、薩、ハ、許、サ、
晚、三、岳、内、ハ、十、段、口、運、ヒ、ル、任、事、ヲ、致、シ、九、
機、會、不、必、處、分、致、ス、リ、然、レ、何、ラ、申、ス、モ、人、才、先、才、一、横、濱、へ、並、置、萬、國、ノ、情、態、諸、
知、リ、サ、セ、反、者、候、唯、き、リ、モ、不、相、濟、是、非、美、字、答、古、モ、我、也、然、レ、キ、者、隨、從、サ、セ、者、候、誠、
御、潜、伏、中、世、話、相、成、リ、通、詞、頭、元、柴、田、大、助、松、可、知、且、又、京、橋、大、肝、要、候、兵、卒、近、モ、往、來、
一、只、今、仁、師、申、上、之、通、一、候、時、勢、浴、幸、シ、シ、王、政、二、相、成、リ、候、得、ハ、實、ニ、勤、王、大、切、ト、被、
初、幕、府、威、權、有、之、キ、ハ、幕、府、在、之、盡、ク、是、一、勤、王、ト、存、シ、吾、リ、別、ニ、興、羽、目、前、幕、府、見、
計、テ、九、州、中、國、ノ、天、朝、ヲ、尊、ビ、致、ス、様、至、シ、テ、然、レ、具、幕、府、日、衰、運、二、相、成、リ、政、刑、大、當、
三、九、州、中、國、ノ、人、心、モ、離、レ、タル、ヨ、リ、王、政、ヲ、論、起、リ、其、興、ハ、幕、府、ト、西、國、ヲ、爭、テ、天、下、何、ニ、相、成、
三、九、州、中、國、ノ、人、心、モ、離、レ、タル、ヨ、リ、王、政、ヲ、論、起、リ、其、興、ハ、幕、府、ト、西、國、ヲ、爭、テ、天、下、何、ニ、相、成、

量仍ハ諸侯各々時勢ヲ見カテ朝暮共ニ不盡ニ日循ニ相成ル處今度政權一掃
 奥羽藩ノ降伏ニ及ハハ九州諸藩爭テ天朝ニ仕ナリ時未タ平定不致天下ホク薩安心
 無之侯處今薩薩長國ヲ天朝奉リ俟ハ實ニ名實共ニ正リ相成リ更ニ其賊ノ跡モ不復見ハ
 然レ今ノ天朝ハ薩ホノ全權ヲ上テ際ノ實知モ之ナリ四藩ハハ終ニ諸侯力ヲ惜ミテ外夷ノ有リ
 我身共ニ弊ハナリ素ト國內加ノ亂便ハ兒毛角モ侯ハモ外患ヨリ始リ今日正切迫ル處共外
 患不顧漸ニ蘇ノ勢近ノ大政官ハ早ノ破裂ニシヨト思フハ即チ救急ノ急ニ深ク甚クモ之ヲ
 王政一ツノ頼、日本ニハ於テ是對テハ要知天ホ忠務ノ七場合下ナリ
 一ハ今誠ニ即申シテ王政計リテ立續ク日本ニ俟ハ共台去私心、為カ脱艦ホノ勢ヲ得ル
 一ハ開便ハ誠ニ氣味好クヨウ候有ニ就テモ朝廷ハ何ア人ノ欺ハ復モ先ツ吾國ノ業ハ知テモ差
 出シ度思フヨフニ俟ハ然レモ朝廷ニ對テモ我身共ニ共ニ弊ハナリ思ハレ是非王政ハ大命
 誠ニ得テ之ヲ善キ人ノ差出シ度ナリ
 一實、外國ノ可死形勢ヲ知テ奧羽ハ義兵ノ揚リシキハ外國人ハ素ヨリ王政ハ無理ニ出カト心得シ
 英ヲ除クテ其他ハ皆奧羽ハ赤心ノ標榜ニテ、已ニ幕府代ハ横濱親相ニ一月五六萬モキニ處
 今ハ三萬金位ニ假且又新舊敵地戰爭ノ場ニハ集兵交直ハ上ラズ官軍ヨリ獲ニ、已ニ河
 蘭院ハ法ヲ犯シテ年々、糸糸種幣銅ノノ交易持来リシキ裁判ハ相聞ハ早速ニ
 兩國ハ之ヲ真意ヨリ見テ、彼方ニシテ用ハ分存可ク感得感得ノ外角
 必於薩薩長國ノ功ニシテ也

一金小判

五枚

右ハ徳薩有志在薩神ノ所旋テ方々ノ商賈特ニ販
 當市ヤウ有用ノ才、此思ハ為所羨

此類ノ一

倉庫ニ免ヨリ日長ニ及テ所積ノ積元別ニ一積概ノ一級
 九ノ積ノ一ノ調ノ心ノ下積ノ積ニ積例アリ

五日晴

八字公親朝古滯國古暇之古禮也 作上

西之双松卸之存焉入

二字小川 山吉曰伴

三息亭了之年字酒席

雜荷之白泉年之日亭多矣伏古處古處

西之房早林龜吉曰近河 末會國古禮

酌取三膳百苦河元今來歌

一藩政改葬之儀談了西野決而急處不敗事ハ云

大緊要ノ交ハ此也勘者帰國ノ志告アリ

一古藩法献國ノ論亦決ハ長薩モ然リ

一林龜吉名言時勢ノ推移茶氣船ノ海波ヲ轉

マテ疾シ尋常ノ馬蹄イカラカ之ニ追ヒ及シ今日無他詳

唯是断ニアリ

一外國軍事大隈八太郎曰道已ニ葛陽ハ八月中發程英

殺害不死人流前ヨリ出漸疑事分明ニ相成リ由

深更直醉談雜荷極快而別居居献國ノ情態ヲ

弦齋先生談

六日晴

吉井公在末

山吉擢行人 釜坂行人擢七番隊頭

小川山吉小生於會談可談古藩献國之真説

此山極尾奈来大論郡縣ノ大事仍庶老片提

乃走肥前多久不在宅ニ由訪而林謙三郎云

噴字飯小川曰例元門伴 訪カ爲進平到

白泉極味道々會計 一杯雜飲ヲ為ス

付古孺生在ノ不在屋或ハ訪大亦民平或共公

箱着ノ別邸ニ去リ

出府二月延入作御所
太守孫竹時古原國此多北之趣也
獻國之趣書類八千五百本
身原中朝計五別控
大垣房之獻國中平為奇持
迄先子供平水邊
古原中朝物書
古原中朝物書
古原中朝物書

誠分中持

百年事業丹心若萬世綱常赤子杖

懷抱觀古今

為屋會漢所上人
公之報之
一木路之老舍
延延之
就之也

心問之為内漢必云
廣之也
何能幼年
大事作說得
向法及報國
一上麻布
未從之

七日曇

越老比學子
馬上

西野談話

早茂而人
貴藩中
實公奉
最幼
唯、曠
前休中
閑然不
回論之

日運相成後得論議已變之佐守正月中力伺
天棧上京節右獻國建日朝廷差出使節在序右
獻國大賞亦一新日即朝廷生殺予奪權無之諸侯
強大尾大不掉之憂有之朝廷亦諸侯力以被力立
得者自然該矣ノ氣ヲ被焉ノ勢不免也又封建ノ弊才一祖先
門閥ノ蔭依無功無能者モ大禄ヲ白ノ賢才有識者モ
卑劣ノ埋没シ凍餓ノ不免本ノ人爵ノ密リ本ノ國柄ヲ天爵
更ニ其位ヲ不得是其弊尤可算ノ急務ニ屬日本ハ古來
天子ノ難氏一王不易ノ門閥ノ後ハ盡ク人爵ノ廢シ復舊モ不
或天人而爵立了様可有之弊之藩素ヨリ獻國ノ目的ハ其
諸藩一體ノ屬ハ縱令獻國致シテ於朝廷内採用如何力在
欲其朝廷結局之也諸侯封禄平等相成減高以テ
朝廷供之朝廷兵馬之權ヲ掌握成リテ天子親之責討被
將振有之今日憂ハ熱テ大藩之勢被削テ諸藩ヲ被
徵也官人ニ強藩ヲ出ルル人々威權ヲ相掃シ小藩ノ人々
賢能ノ人々後其言必貴徹不致皆建封ノ弊ハ其後是罪
郡縣ノ制度ヲ以テ其國体ヲ立直シ無之ハ外夷ノ陵侮設テ不可禦
昨年東北ニ征討シテ其藩ヨリ一大隊死シ出兵相成兵制ト
申ス英佛蘭式混同ノ軍法ヲ隊伍号令不一混亂更ニ不可收
國內ノ戰爭ハ三批ノ半ノ早速相成得テ皇威ヲ海外ニ被輝
大業ヲ建シ成ルルハ兵制一統及賢明ノ諸侯ヲ撰シ海陸
兵隊ヲ都督管轄無之ハ外夷ヲ駕御シ基本更ニ不相之煩也

臣等一度致シ海外萬國并立ノ事實凌波在存大目的ニノ獻國
致テ悉意ニ於テ方爲レ口述陳シテ御意ヲ奉ル
一云佐守建日朝廷ノ藩長共ニ獻國無之ハ今頃ハ兵ハ上平ノ藩ハ
昨年ヨリ其論ヲ於テ其文ヲ差テ了ル大槓ニ差テ了ル肥前一切
未ニ至知テ海

一前島東林ノ事ヲ麻布六本木御第一所高島多保ノ事ヲ諸
及堂役共ニ決テ上院方迄及廷方ヨリ切テ口節澤井頼
助屋敷守野頭ノ用惣論茶又ハ琴平ノ種兵衛中何人モ
之ノ費用ヲ及女官等ノ修養ノ費ヲ濫シテ
越此山多々吳吳衛野所

兩人間口高島屋津除伏人等不容易也
可也切近明海池方且切ノ御事也
不在重放修文ノ御事也
於此高島屋津ノ御事也
之ノ御事也

午後快方終りて多き島倉下城存す多きあり
戸田氏人の所あり一城馬屋中より元徳内之に号あり
如生口より本館へ戻りて一城は振舞ひ多し
願ふに在りて多し
三文字のちお島倉下城に先生屋中へ移す
乃ち初双松齋印の格度行多し
西島より中島へ移す
東島より西島へ移す
乃ち南島へ移す
十二字歸一合

大垣三河封之返上願書

謹言よりりて
王政一新等機を親裁し
麵分は作若鯨鼻政音草木風靡誠心千載
一日尚身仰は母甘西し化を就り警備多し
可領西島封之儀は所領者作自ら於名を匿恐
入るまらり所依りち地人民古存名を度是誠皮
多終り以上

二月
謹事
山中

戸田香正

臣東頓首して謹言案ルニ
朝廷一日も失つ可ラサル者ハ大
體ナリ一日も假ス可ラサル者ハ大權ナリ

太祖肇テ國ヲ開キ基ヲ建玉ヒシヨリ
皇統一系萬世無窮普天率土其有ニ非サルナリ其臣ニ
アラサルハナシ是大體トシ且尊ニ爵祿以テ下リ維持シ
尺土も私有スルニ能ハス一民も私攘ムニ能ハス是レ大權トシ在
昔朝廷海内ヲ統馭スルニココニヨリ聖躬コレヲ親ス故ニ名実
並立テ天下無事ナリ中葉以降細維一々弛ニ權ヲ弄シ柄ヲ
争フモノ運ヒテ朝廷接シ其民ヲ私シ其土ヲ竊モ天下ニ
半ニ遂ニ搏噬攘奪ノ勢成シ而テ朝廷于ル所體ナク兼
ル所權ナクシテコレヲ割御スルニ能ハスヤ抑進ニ乘シ弱ノ自
強ノ食ナリ其大なる者ハ數十列リ併セ其小なる者猶七ラ養フ
一数千終ニ所謂幕府ナル者如キ起リ土地人民擅ラ其私ニ
所ニ頒テ以テ其勢權ヲ杜植ス是レ於テ予朝廷徒虚器
ヲ擁シ其視息ヲ窺テテ喜感ラヌニ至ル横流ノ極滔天四子
ルニ茲ニ有餘年然レモ注ル天子ノ名爵ヲ假ラ其土地人民
私スルノ跡ヲ敬フ是君臣ノ大義ナク名分弟古不悛モノ固ヨリ
アルニ由ルナク今大政新渡シ萬機コレヲ親ラヌ實ニ予載ノ
一機其名アリテ其實ナカレハカラス其實ヲ奉ル大義ヲ明シ名
分ヲ正スルヨリ先ハナシ獨ニ徳川氏ノ起ル古家曰族天下ニ半
ハスヨリテ家ヲ起スモノ亦多シ而レテ其土地人民コレヲ朝廷ニ

受ト否ト問ム、因襲、久キ以テ今日に至ル世或ハ謂ラク是レ
祖先鋒鏑経テスレテ、吁何ソ兵ヲ推テ疾視シ、官庫ニ入り其
化復ヲ奪ヒ是死ヲ化シテ復シテ、ト云フニ異ラシヤ、庫ニ入
モ人共賊タルヲ知ル地人民ヲ擄奪スニ至リテハ天下コレヲ怪ス
甚哉名義ノ紊擾也、今ヤ不新、治ヲ求ル軍ニ大敵
ノアル所大推ノ繫所、然モ假スヘカス、抑臣等、各ル所、即チ
天子ハ七臣業、牧心所、歸テ天子ノ民ナリ、守シテ松有スヘシ
ヤ、今謹テ其版籍ヲ取テコレヲ上ル願ク、朝廷其其處ニ
其共フヘキ是レ共、奪フヘキコレヲ奪ヘ、凡列藩封土更ニ
更テ、詔命ヲ下シコレヲ改メ定ム、而制度典刑軍旅ノ政ヲ我
服器械、制系迄奪テ、朝廷ヲ出テ天下ノ事、大ハトク皆ニ
歸セム、然後名實相得、海外各國ト並立ヘシ是、朝廷今日ノ
急務、又臣子ノ責ナリ、故臣等、不肖、譚芳、願ニ取テ、鄧襄
ノ献テ、天日ノ明幸ニ照臨ヲ垂レ、賜ヘ、臣某誠恐、誠惶、頓首、
名一、恭ハ、薩長土ニ藩ヲ、京師行政官ニ出ト云フ

檄文

徳川氏政權、迄ニ以後、其福連結、大政、一新ニ、實、知
ホク、確、多ク、失、過、行、ハ、ラ、シ、後、来、大、勢、之、所、歸、如、何、故、ト、其
心痛、至、以、今、幸、ニ、東、北、鎮、定、國、家、稍、屬、無、事、皇、政
日、新、越、ク、實、ニ、是、國、家、之、長、事、ト、云、ヘ、特、然、也、獨、惟、

其名其實、業タ、澤、ニ、有、テ、諸、侯、亦、其、土、地、人、民、ヲ、知、レ、所
在、其、制、度、ヲ、異、シ、其、政、刑、ヲ、考、テ、其、名、ヲ、藩、屏、ト、謂、ヒ、其、實、ハ、割、據
ノ、實、心、以、名、分、紛、亂、國、カ、分、離、シ、テ、我、日、本、ノ、一、國、何、以、テ、海、外、萬
國、之、交、際、ヲ、遂、ゲ、シ、何、以、テ、東、興、國、ニ、標、準、ヲ、立、テ、大、義、名、分、
實、事、ヲ、奉、ケ、ル、在、行、ヲ、行、テ、皇、政、ノ、基、本、ヲ、確、定、ス、ヘ、シ、

第一

封土奉還ニ郡縣ノ制度ニ復ス事

第二

諸侯ノ名ヲ廢シテ貴族ト稱シ米色幾許ヲ賜フ事

第三

藩臣ノ名ヲ省テ都テ朝臣ト唱、俸、祿、舊、以、賜、事、
以上三條件、今日至急ノ要務ニシテ、永世不朽、
皇、法、ヲ、老、所、ナリ、頃、日、傳、聞、シ、薩、長、土、尾、西、肥、等、既、以、議、リ、
決、テ、國、家、ノ、幸、何、以、カ、之、ニ、加、シ、ヤ、今、小、臣、等、敢、テ、不、肖、微、力、
不、肖、愛、國、ノ、餘、力、共、連、署、伏、テ、朝、裁、ヲ、仰、シ、ト、期、ス、若、同、意、ノ、
諸、兄、ヲ、ラ、ハ、各、命、尾、ニ、於、テ、貴、名、貴、利、ヲ、給、ラ、シ、事、ヲ、懇、願、ス、

明治二年己巳春二月

秋月左京亮

不宣

十四日雨

雪堂詞翁昨夜ノ詩作ヲ送リテ且年肴ヲ贈之
一予前毛交ヲ訪昨夜京便着時然則之献國
ノ有也。三条殿子息英國通事ヲ引居ル也。
三月下旬古葦葦ハ草。途中 伊勢大廟
此拜シ。
一飛井家貞姫被出始末實ハ情薄ハ不堪也然家
可然。

一西京ニ急金權ハ人々事情檢究スル也。昔建白
一淨雲院ハ。此日再ニ自銀ヲ淨雲院ニ移ス。

一辨子ハ。彼等呼聲ヲ聞カレテ子於傳達可
之極點物存ト云ハレテ通水渡ル者極其苦悶歟

一此山内ハ。傍初製院リ内。達ス。

一廻生ハ。三月廿日議事院開議ト云延引ル也
申来。

十廿日夢

一東久世殿内ハ。大お世也リ病苦者云云云々也
此山内ハ。

一此何ハ。為シ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一武ハ。後藤本移動ニ面居公後人云云所
及者命ハ。云々。此山内ハ。

一有町據為之... 面者互之... 昌平接... 一其... 二... 橋...

為暮... 中茶... 銀... 乃...

十六日... 午後... 前... 庄內... 對酌... 後...

若何... 庄... 揮... 此...

一... 紀... 備...

一... 和... 萍... 知...

高鍋藩

泥谷敷

三好頼成

去列藩

毛利義輔

下村盛徳

間忠藏

前野源三郎

西野彦郎

中村親郎

福岡宮内

寺村亨

武藤胤

板垣退助

林亀吉

谷中節

中里半九郎

笠原十吉

田敬助

長岡

榎本石門

三間織部

三島宗孝

雲藩

雨森謙郎

妹尾昇郎

飯塚修平

秋田重光

寺村亨

武藤胤

板垣退助

林亀吉

谷中節

左内

股野謙郎

戸田惣一郎

朝比奈宗

勝守房

山岡義節

関口良輔

前島来助

妻木祐

織田宗節

東金殿

大村達也

上山

泉水百軒

天童

相川理右

代亦寛翁

武田良助

